

経済成長が続くアフリカ市場に進出をめざす中小企業が揃っている。中国地方の企業も、環境保全や廃棄物処理の分野で参加。中小企業には危機管理や初期投資のコストが壁になるが、民間主導の成長を支援する国際協力機構(JICA)が進出を後押ししている。

中国地方の企業進出

造船業で栄えた広島県尾道市の因島。4月下旬、「トロムソ」(熊本後援会)の町工場で、タンザニアからの技術者4人が機械をあそび込んでいた。

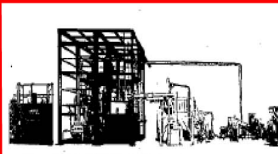
もみ殻をすりつぶして、棒状の固形燃料「モミガラ」を作る装置だ。2018年に創業した同社が開発し、これまで農家や自治体に約7万台を売った。

12年にJICAの補助を受けたのがきっかけで、アフリカ進出をめざす。技術者の受け入れは、機械の現地生産やメンテナンスに向けた体制づくりに目的だ。

4回渡航した農産部長の渡田んほで、路上には煮炊きに使う炭が売られていた。日々、日暮り近い月並みに期待する。タンザニアでも、もみ殻が余る一方、炭用の木材伐採が深刻化しており、環境保全

アフリカ市場を狙え

もみ殻や廃プラスチックの燃料技術を提供



南アで普及を図る廃プラスチック油化装置=CFP提供

にも貢献できるという。ハードルは1台600万円。価格、JICAからも支援で1億円の支援を受ける計画。事業は、主要部分以外の現地生産と、機械の廃棄物を始め、価格を半分に抑えて販売。同県山形市の合成樹脂の加工販売会社「CFP」は、廃棄物リサイクルで南アフリカ共和国に進出する。JICA



燃料製造装置について説明を受けるタンザニア人の技術者ら。尾道市因島農井町

「11年か日本環境展覧会(ジェトロ)の商談会で市場を調査。廃棄物による土壌汚染や慢性的な電力不足などの課題を分析し、工場などに油化装置を設置することで採算性のあるビジネスになる」とみる。技術の流出を防ぐため、主要部分は国内で生産するが、「ビジネスモデルごと新しく提案するので価格競争にはならない」。今後、アフリカの他の国に展開し、年々、10億円の売り上げをめざす。

JICAも支援メニュー

近年5%超のGDP成長率が続いたアフリカ諸国、JICAが企業支援を進める背景には、同国に由来する直接投資の増加がある。13年のCEA(政府の途上国援助)の調査によると、民間の直接投資額は8年前、アフリカへのODA総額を逆転。10年間で、3.8倍の660億(約6兆円)になった。JICA中国(東京都市)によると

と、19年度を始めた中小企業の海外進出支援、中国地方からの応募件数は8件がアフリカ関連、提供された社外にも、鳥取、鹿嶋、岡山県の企業からアフリカ開発の応募があった。今年2月に広島市で開いた「アフリカビジネスセミナー」には中国地方の13社が集まった。一方で、壁となるのが設備不安などのリスク。トロムソも当該予定し

(小畑川暉平)

Plastics processing and sales company CFP corporation, based in Fukuyama city, Hiroshima prefecture, is set to begin waste plastic recycling business in South Africa. Utilizing JICA's demonstration project funding system, CFP will export waste plastic-to-oil production system, this plant is able to convert waste plastic into fuel for equipment such as diesel generators. Tetsuya Sato of the overseas sales dept. explains the reasoning behind CFP's newfound attention to Africa, a market seeing population growth, by pointing out that the "Japanese market is shrinking, and Southeast Asia is extremely competitive." Research into the market had begun at a 2011 business meeting held by Jetro. Analyzing issues such as soil contamination caused by waste materials and chronic power shortage, the company decided that "installing Waste plastic-to- oil production system in factories can be a profitable business." In order to prevent leakage of technology, main components will be manufactured in Japan, but the company is confident that they are "introducing a new business model, and therefore will not face price competition." CFP is planning further expansion into other African countries, aiming for 500 million to 1 billion yen in annual sales.